
トラック7『主さま……激しく後ろから、動物みたいに種付けしてください』

【琴葉】

「主さま、お疲れさまでした。わたくしに子種を注いでくれて、本当にありがとうございます」

【琴葉】

「まだ主さまの温もりがわたくしの中に……嬉しいです。えへへ」

【琴葉】

「主さまのおちんちん、普通に戻りましたね。精液でこんなに汚れてしまって……わたくしがお掃除いたします」

【琴葉】

「あんなに雄々しくて硬かったおちんちんが、こんな風になるなんて」

【琴葉】

「ふにふにしてて、とても柔らかいです。なんだか可愛い♪」

【琴葉】

「主さま、わたくしのお口でお掃除いたしますね」

【琴葉】

「はむっ、ちゅくちゅく……んふう、れおお……はあはあ……まだおちんちんの中に、精液が残っています。全部吸い出しますね」

【琴葉】

「ちゅるっ……ちゅぼぼぼぼっ、ちゅうううう～っ……んんんっんぱっ……はあはあ、はあはあ……タマタマの裏側もお……れろれろっ……ちゅるう、ちゅぼぼぼっ」

【琴葉】

「はあはあ……裏筋に垂れた精液も、綺麗にいたしますね。んっ、ふう……れろれろれろお……ちゅむっ、はむう……ちゅちゅ、れろれろお……」

【琴葉】

「はあはあ……主さま、おちんちんがまた大きくなってきましたよ？ 先ほど出したばかりなのに……とても遅いです」

【琴葉】

「おちんちん……ぺろぺろ続けますね……」

【琴葉】

「むちゅっ……れろれろお……はむう……はあはあ、はあはあ……んんっ……ちゅちゅちゅっ、れろお……むちゅっ……んふう、はあはあ……ちゅむう、ちゅちゅっ……れろれろれろお……んっ、ふう、ふう……ちゅちゅちゅっ、はむう……はあはあ、はあはあ……」

【琴葉】

「もう先っぽがぷりぷりになってますよ？ はあはあ、はあはあ……むちゅっ、れろれろお……おしっこの穴もお……パクパク痙攣してます……」

【琴葉】

「それにおつゆも……ちゅちゅ、れろお……にちゅちゅっ……はあはあ……あんなに出したのに、すごく濃厚です……舌に絡みついてきます……」

【琴葉】

「主さま……ガマンせずに声を出してくださいね？ 先ほどからあ……れろお、むちゅちゅ、ちゅるっ……腰が動いていますよ？ はむむう……れろれろお……」

【琴葉】

「舐めながらあ……むちゅっ、れろれろお……はむむう！ おちんちん、シコシコいたしますね」

【琴葉】

「おちんちん……シコシコ、シコシコ……タマタマもお……もみもみ、もみゅもみゅ……」

【琴葉】

「はあはあ……主さまのすべてが愛おしいです……むちゅう、れろれろれろお……ちゅるるうううっ」

【琴葉】

「はあはあ……主さま、射精するときはわたくしの口で……もう一度、精液の味を堪能させてください……」

【琴葉】

「むちゅっ……れろれろお……はむう……はあはあ、はあはあ……んんっ……ちゅちゅちゅっ、れろお……むちゅっ……んふう、はあはあ……ちゅむう、ちゅちゅっ……れろれろれろお……んっ、ふう、ふう……ちゅちゅちゅっ、はむう……はあはあ、はあはあ……」

【琴葉】

「えへへ……タマタマがきゅーって上がって、先っぽがぷるぷる震えてます。いつでもお出してください」

【琴葉】

「それとも……おまんこを使いますか？」

【琴葉】

「——きゃっ！ 主さま、どうなされたのですか？ 急に押し倒すなんて……」

【琴葉】

「それにこの格好……四つん這いなんて、動物みたいで……は、恥ずかしいです……」

【琴葉】

「はあはあ、はあはあ……おまんこお尻の穴も、主さまに見られてる……」

【琴葉】

「こんな……四つん這いでお尻を突き出すなんて……やあああ……主さま、お願いします……見ないでください……」

【琴葉】

「——はんっ！ やあああ……主さま、なにをなさっているのですか!？」

【琴葉】

「そんな……はあはあ、はあはあ……おまんこお……拡げないでください……はあはあ……」

【琴葉】

「まだ主さまの精液が残っていて、溢れてしまいます……んっ、ふあああ、ああああ……」

【琴葉】

「やあああ……出ちゃいます……おまんこから精液があ……くふう、ふあああっ！」

【琴葉】

「んっ……はあはあ……恥ずかしい……主さまあ……もうお許してください……」

【琴葉】

「本当に恥ずかしくてえ……ああああんっ！ わたくし……どうにかなってしまいそうです……」

【琴葉】

「んっ、はああん！ やっ……そ、それ以上……本当に拡げないでください……はあはあ、はあはあ……」

【琴葉】

「見られてる……わたくしの奥の奥までえ……ああああんっ！ 主さまに見られています……はあはあ……」

【琴葉】

「は、恥ずかし……本当に恥ずかしいです……。でも、主さまが見たいというのなら……わたくし……わたくし……」

【琴葉】

「んっ、ふう……はあはあ……どうぞ奥までご覧ください……」

【琴葉】

「はあはあ、はあはあ……主さまの視線を感じます……おまんこの奥まで……んんんっ、はああん！」

【琴葉】

「恥ずかしくて体が震えてえ……はあはあ、はあはあ……主さま……ま、まだご覧になるのですか？」

【琴葉】

「主さまの視線がおまんこに刺さってえ……んっ、あああんっ！ もっと濡れてしまいます……はあはあ、はあはあ……」

【琴葉】

「ダメ……愛液が止まりません……はあはあ、はあはあ……んっ、ふう、あああんっ！」

【琴葉】

「——ひゃんっ！ あ、主さま……いけません！ そこお……あああん！ クリトリス……はあはあ……」

【琴葉】

「今っ、とても敏感なんです……だから、だから……お願いします……触らないでください……」

【琴葉】

「——んあっ！ はああん！ ダメって言ったのにい……あああんっ！」

【琴葉】

「はあはあ、はあはあ……ビンビンに勃起したクリトリス……主さまが摘まんでる……」

【琴葉】

「ひぐう、んあああっ……やああああ！ 主さまあ……コリコリしないでください……はあはあ……」

【琴葉】

「んふっ、はあああん！ 刺激が強すぎてえ……はあはあ、はあはあ……だめえ……腰が震えてしまいます……」

【琴葉】

「主さまっ、主さまあ……ああっあっ！ んっ、はああん！ も、もう……わたくしっ……それ以上はあ……んんんっ、あああああん！」

【琴葉】

「やっ！ だめえええ！ お許してください！ 主さまあああ！ はぐう……んんっ、はああん！ も、もう……わたくしっ……ふあああっ、はああん！ やあああああああ～～～～っ！」

【琴葉】

「ふあああ……ああああ……おしっこ出てる……はあはあ、はあはあ……やあああ……恥ずかしい……」

【琴葉】

「んっ、はあはあ……恥ずかしいのにい……あああんっ！ 体が火照ってしまうなんて……はあはあ、はあはあ……」

【琴葉】

「主さま……も、申し訳ございません……粗相をしてしまいました……はあはあ……主さまの前でおしっこをしてしまうなんて……わたくしはなんてことを……」

【琴葉】

「はあはあ、はあはあ……こんな酷い粗相は、許されるはずがありません……どうか、どうかお仕置きしてください……」

【琴葉】

「……はい、お仕置きです。わたくしのエッチな体に、どうかお願いいたします……」

【琴葉】

「はああん！ んっ、はあはあ、はあはあ……主さまの平手があ……わたくしのお尻に……んんんっ、あああん！」

【琴葉】

「い、痛い……ヒリヒリしてえ……あああんっ！ とても痛いです……はあはあ、はあはあ……」

【琴葉】

「でも、これはお仕置きですから……んっ、あああんっ！ どうか続けてください……」

【琴葉】

「はああん！ んふっ……ああああっ！ お尻い……あああんっ！ 真っ赤になってしまいます……」

【琴葉】

「痛いはずなのにい……あああん！ わたくし、わたくし……はあはあ、はあはあ……体が火照っています……」

【琴葉】

「主さまあ……わたくしは本当に悪い子です……はあはあ、はあはあ……もっともっとお仕置きしてください……」

【琴葉】

「あああん！ やんっ！ あっあっあっ！ 痛い……はあはあ……痛い……んっ、やあああん！」

【琴葉】

「こんなに痛いのにい……んくう、あああん！ おまんこが濡れてる……はあはあ、はあはあ……」

【琴葉】

「お仕置きのはずなのにい……あっあっあっ！ いっぱい濡れてえ……感じてしまっています……んはっ、ふああああ！」

【琴葉】

「あああん！ あっあっ！ はあはあ……やああ……じわじわ痛みが広がってえ……ああああっ！ わたくしっ……わたくし……はあはあ、はあはあ……」

【琴葉】

「はあはあ……主さま……本当に申しわけございません……こんなエッチで変態な子でえ……あああん！ 本当に申し訳ございません！」

【琴葉】

「でも、もうガマンできない……はあはあ、はあはあ……お尻を叩かれながらイッちゃいます！ はあん！ んんんっ……あっあっあっ！」

【琴葉】

「主さまっ、主さまああ……はああん！ んんっ……あっあっあっ！ ごめんなさい……お許してください！ んんっ……ああああ、ああああ……ふああああああ～～～～っ！」

【琴葉】

「はあはあ、はあはあ……んっ、あああん……主さま……お仕置き、ありがとうございます……はあはあ……」

【琴葉】

「あの……粗相までして、お願いするのは厚かましいのですが……キス……して頂けますか？」

【琴葉】

「むちゅっ……れろれろお……はむう……はあはあ、はあはあ……んんっ……ちゅちゅちゅっ、れろお……むちゅっ……んふう、はあはあ……ちゅむう、ちゅちゅっ……れろれろれろお……んっ、ふう、ふう……ちゅちゅちゅっ、はむう……はあはあ、はあはあ……」

【琴葉】

「お仕置きも好きですが……むちゅっ、れろれろれろお……はむう、んふう……抱きしめられて、キスするのも好きです……はあはあ……」

【琴葉】

「主さまに抱きしめられるとお……ちゅちゅ、れろお、はむむっ……頭の中がとろけてっ、ふわふわになってえ……はあはあ、んちゅっ、れろお……」

【琴葉】

「全身の力が抜けてしまいます……はあはあ、はあはあ……むちゅっ、はむう……ふう、ふう……れろれろれお」

【琴葉】

「でも、乱暴な主さま……また見てみたいです……」

【琴葉】

「あっ……おちんちんが、すごいことになっていますよ？」

【琴葉】

「もう先っぽがパンパンで、おつゆがとろとろ溢れて……はあはあ、はあはあ……また逞しいお姿に……」

【琴葉】

「わたくしばかり気持ちよくなってしまい、本当に申し訳ございません」

【琴葉】

「主さま……わたくしのご奉仕いたしますか？」

【琴葉】

「それとも、わたくしのおまんこ……メチャクチャになさいますか……？」

【琴葉】

「あああんっ！ んっ！ また四つん這いに……はあはあ、はあはあ……主さまは乱暴なエッチが好きなのですね……」

【琴葉】

「おまんこもとろとろで、クリトリスも真っ赤で……はあはあ、はあはあ……恥ずかしい……」

【琴葉】

「でも、主さまが望むのでしたら……どうぞ乱暴にわたくしを犯してください……」

【琴葉】

「んっ、あああん！ はあはあ……おちんちんすごい……おまんこの中あ……あああん！ どんどん広がっています……はあはあ……」

【琴葉】

「主さま……奥まで……はあはあ、はあはあ……奥まで突き上げてください……」

【琴葉】

「わたくしは壊れても構いません。激しくお願いします……」

【琴葉】

「はああんっ！ んんっ……はあはあ、はあはあ……主さまの形っ……わかります……」

【琴葉】

「何度も何度も擦られてえ……あああん！ わたくしのおまんこっ……主さまの形になっていますから……」

【琴葉】

「はあはあ、はあはあ……わたくしのおまんこはあ……んふう、あああん！ もう主さま専用です……はあはあ、はあはあ……」

【琴葉】

「えっ？ やっ——んはっ、ああん！ 主さまの指があ……お尻の穴に入ってきます！ そこお……だめえええ……あああん！」

【琴葉】

「おまんこだけじゃなくてえ……そんなところまで……はあはあ、はあはあ……ダメです……主さまの指が汚れてしまいます……」

【琴葉】

「くふう、ふあっ……あっあっあっ！ やあああ……グリグリされてる……はあはあ、はあはあ……」

【琴葉】

「主さまのおちんちんと指がっ、わたくしの中で擦れてえ……んんっ、ふう、ひあああっ！ だめえええ……こんなの、こんなの……おかしくなってしまうす！」

【琴葉】

「んふう、ふあああ……あっあっあっ！ はああん！ 主さまあ……これえ……ダメです！ も、もう……本当に飛んじゃう……はあはあ……あああん！」

【琴葉】

「目の前がチカチカしてえ……んふう、ふあああ！ な、なにも考えられない……はあはあ、はあはあ……」

【琴葉】

「やっ、だめえええ……んふう、はあああん！ ま、またイッてしまいます！ 主さまっ、主さまあ……んあああ、はああん！」

【琴葉】

「イクイク！ おまんことお尻い……イッちゃいます！ やっ、んふう……あっあっあっ！ やああん！ イク！ んふう……イクうううううう〜〜〜〜っ！」

【琴葉】

「ふああああ……ああああ……ま、またお漏らしを……はあはあ、はあはあ……主さま、申し訳ございません……」

【琴葉】

「体がふわふわしてえ……ふあああ、はああんっ……もう力が入らなくて……はあはあ、はあはあ……」

【琴葉】

「主さま……お願いします……少し休ませて頂けませんか？」

【琴葉】

「んはっ、やああん！ んぐう……あっあっあっ！ そんな……先ほどより激しくてえ……あああん！ このままでは

気を失ってしまいます!」

【琴葉】

「んふう、はあはあ、はあはあ……主さまのおちんちんっ、激しすぎてえ……ひあっ、あああん! おまんこお……捲れるっ……やんっ! ああああ!」

【琴葉】

「はあはあ、はあはあ……こ、こんな……後ろから思い切り突き上げられてえ……子宮を揺らされてっ……ああああんっ!」

【琴葉】

「こんなのお……あっあっあっ! 動物みたいです! はあはあ、はあはあ……やああん! わたくし犯されてる……主さまに動物みたいに犯されてる……」

【琴葉】

「はあはあ、はあはあ……こんなに激しいのにい……あああん! 子宮がきゅんきゅんしてっ、切なくてえ……んぐう、ひあああ! おまんこ気持ちいいんです!」

【琴葉】

「主さま……はあはあ、はあはあ……もっとわたくしを犯してください……おまんこメチャクチャにしてえ……溢れるくらいっ、中に出してください!」

【琴葉】

「ひゃんっ、んふう……あっあっあっ! もうわたくしい……主さまのおちんちんが無ければ、生きていけません!」

【琴葉】

「こんなに気持ちいいなんて……はあはあ、はあはあ……ああああん! 主さまっ……これからお、わたくしを犯してください!」

【琴葉】

「はあはあ、はあはあ……んはっ、やあああん! 激しっ……あああん! ま、またイク! だめえええ……ガマンできません!」

【琴葉】

「主さまもお……あああん! 主さまも一緒にい……はあはあ、はあはあ……お願いします……」

【琴葉】

「はあはあ、はあはあ……んはっ、はあああん! イク! 主さまあ……一緒にい! ふあああ、あああ……やああん! あっあっあっ!」

【琴葉】

「だめっ! だめえええ! んぐう、ひあああっ……はああん! んはあ……イク! おまんこイク! やあああ……ん

んんっ、ひあああああああ〜〜〜〜〜っ!」

【琴葉】

「んふう……ふあああ、ああああ……出てますう……主さまの精液っ……ぴゅっぴゅっぴゅ〜ってえ……はあはあ……わたくしの中をお……隙間なく満たしています……はあはあ、はあはあ……」

【琴葉】

「主さま……好きなだけ注いでください……はあはあ、はあはあ……わたくしを孕ませてください……」

【琴葉】

「わたくしはあ……んっ、ふああああ……ああああ……主さまのモノですから……はあはあ、はあはあ……」